

WORD

Little Press

vol.5

2011 JAN.

一月の朝は、すべてが初めてで、すがすがしく…

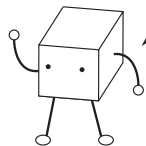
<http://word-tt.jp>

ご意見・ご感想を お願いします！

『ワードリトル・プレス』へのご意見・ご感想をお寄せください。

「もっとこんなふうにしたら、おもしろいのに」「こんな内容を掲載してほしい」「この記事に共感！」……どんなメッセージでも歓迎です！今後の制作の参考にさせていただきます。

メール ✉ word@w5.dion.ne.jp
もしくは、**スタッフ**に直接お声かけください。



みんなは新年
どんなことを
とことん楽しむのかな？

〈ワードのキャラクター〉
トコトンくん

京都オフィス

〒604-8164
京都市中京区六角室町東入骨屋町143
G&Gビル3F
TEL 075(222)1104(代)
FAX 075(256)5516
E-mail. word@w5.dion.ne.jp



東京オフィス

〒102-0082
東京都千代田区一番町4-5
ニューライフ一番町203
TEL 03(3556)6160
FAX 03(3556)1132
E-mail. word-tokyo@m7.dion.ne.jp



いっちょ

カミング

第五回：携帯電話



ビジネスでも私生活でもはやなくてはならない通信ツールになった携帯電話ですが、昨今の若い人を見ていると、ちよつと違和感を覚えることが少なくありません。たとえば地下鉄など電車に乗っていると、特に若い女性が一様に携帯電話を開けて画面を見入っています。走行中の地下鉄では電波が届かないですが、その間にメールを入力し、駅へ着いて電波が入ると送信するのだそうです。電車の中でバラバラに携帯電話と向かい合う姿は、周りの人間への関心など全く感じ取れず、どこか寒々としたものを感じます。

レストランなどで、出てくる料理を携帯電話のカメラでパシャパシャ撮るのも、見ていて感じのよいものではありません。ブログに載せるのか、知り合いに送って自慢するのは知りませんが、他の席で食べているお客と

しては、シャッター音がうるさいうえに、食べている最中にいちいち撮影する行為そのものが目障り千万です。周りの人のことなど関心がないから、それを他人がどう思うかという意識もないんでしょうね。

日本の携帯電話はカメラやテレビ、メール、インターネットなどの機能をいち早く取り付けるなど、世界の中で独自に進化を遂げてきましたが、高機能すぎて他の国ではほとんど広がらず、「ガラパゴス島」と揶揄されています。しかし、日本では携帯電話がないと生きていけないという一種の依存症の人が増え、どこでもかしこでも携帯電話を持ち出すのを見ていると、余計なお世話ですが、日本人自身が「ガラパゴス化」していくんじゃないかと危惧しますね。

(H)

TOKYOの A 小ネタ!

vol.5
東京オフィス
M.S.より

ワードが東京にオフィスを構えて9年目。
このコラムでは、東京のちょっとした小ネタを、
東京オフィスのスタッフがリレー形式で紹介します。



井の頭恩賜公園内の池にあるボート。
白鳥という、イマドキありえないセンス。
「乗ったカップルは別れる」という伝説もあり。

東京都内で「住んでみたい街」というアンケートをとると、必ずランキングで一二位を争うのが、自由が丘(目黒区)と、私が住む吉祥寺(武蔵野市)です。

吉祥寺という地名は、もともと江戸本郷元町(今の文京区本郷)あたりにあった諏訪山吉祥寺というお寺に由来します。諏訪山吉祥寺の門前町が、明暦三(一六五七)年の「明暦の大火」によって焼失したため、町民が現在の地に移住して「吉祥寺」と名付けたのです。ちなみにお寺は明暦の大火の後、今の文京区本駒込に移転しているのですが、吉祥寺の街に「吉祥寺」という名前のお寺は存在しません。

現在の吉祥寺の街は、デパートやファッションビル、家電量販店が立ち並び、東京都西部でも有数の繁華街です。それでいて、井の頭恩賜公園のよ



冬の間、吉祥寺駅前に設置されているイルミネーション。
この微妙な感じが吉祥寺クオリティ。

うな自然あふれる空間があり、昔ながらの商店やこじやれた雑貨店なども揃っているのです。一見住みやすそう、おしゃれっぽい、住んでみたいとなるのもうなずけます。まあ、私が吉祥寺に住みはじめたのも、そんな理由なのです……。

しかし、吉祥寺に六年間住んでみてわかったのは、「吉祥寺は決しておしゃれな街なんかではない」ということです。駅前には戦後の闇市を彷彿とさせる商店街があったり、丸井の屋上で町内の盆踊り大会をやっていたり、行列ができるメンチカツが名物になっていた……。ただ、その「微妙にはずしている感じ」が吉祥寺の魅力なのではないか、と思うのです。青山にもない、浅草にもない、この特異な町がたまらなく好きなのでした。

「一年が速く過ぎる」と多くの人が言います。それは、一年が楽しく、充実しているからでしょうか。それとも、振り回されているからでしょうか。ワードのスタッフは、どちらかといえば後者であります。新しい二〇一一年は、目標をしっかりと言葉にして掲げ、その実現に向けて強い意志をもって挑み、充実した一年にしたいと思えます。

そして皆さまの一年を応援できるような素敵な言葉を、たくさん発信していけるよう頑張ります。

また一年、どうぞよろしくお願い申し上げます。

